

検討委員会の議事がよりスムーズに進行するよう、アンケートを実施して多くの商店街関係者の意見を集約してみました。
質問内容は「一期及び二期の中活への評価」と「新たな中活（三期）で取り組んで欲しい内容」です。想定よりも多岐に渡る回答が多かったため、私の主観で見やすくなるよう出来るだけ同系統にまとめてみました。
同じテーマでも捉える角度が微妙に違ったりもして、商店街の多様性や関心度の高さを再認識しました。

実施期間 2022年1月
対象者 26名（おびさんロードの理事・組合員／他組合の商店主）
回答者 17名（回答率65%）

高知市商店街振興組合連合会理事 大西みちる
【おびさんロード商店街振興組合代表理事】

A 新たな産業創出



地域商社などを立ち上げて、中心市街地活性化から高知市全域を元気にする組織づくりを。

- 1 各市町村の特産品や加工品を販売する拠点がアーケードに少ない。
- 2 商店主同士だと利害関係や人間関係で上手くいかないことも有るので、商店街コンシェルジュみたいな本気で汗を一緒にかいてくれるポジションの人がいたらなあと感じる。
- 3 高知市初の地域づくり支援員が御畳瀬に着任。次は帯屋町にしてみても。ゆくゆくは商店街のメンバーや街づくりに興味のある学生たちと一緒に起業。地域商社を立ち上げて、商店街の情報発信やふるさと納税事業、広報宣伝、商品開発などありとあらゆる新しい中心市街地活性化の組織づくり。
- 4 ふるさと納税の強化。2020年度の寄付金額は県下34市町村の中で11位の3億9399万円（2.9%）。高知市の人口は県全体の46%。もっと寄付金額があってもおかしくない。世界中に散らばっている高知市出身者、そして高知へ愛着をもって寄付してくれる人々を広く発掘して、高知ファンをもっと増やすべき。返礼品として全国的にも知名度の高い高知市中心街ならではの商品を。
 - ・日曜市の朝採れ野菜・果実・加工品など。
 - ・よさこい関連グッズ。過去DVD、オリジナル鳴子、人気チームの衣装を使ったドール人形やブライス人形。
 - ・高知城や坂本龍馬関連グッズ。
 - ・よさこいタウン商品券、または同等のギフト券。

B 歴史・文化を活かした街づくり



コロナ禍の後には色々な観光需要が期待できる。小グループや個人旅行など新たな観光スタイルで選択されるような仕掛けを。

- 5 もっと坂本龍馬や鯉タキなど王道の観光資源を楽しめる体験型観光を街なかで取り組んで欲しい。
- 6 食のイベントが多いがコロナとの相性が悪い。アート、エンタメ、歴史のイベントなどがもっとあっても良いのでは。
- 7 高知城歴史博物館からひろめ市場までの150m区間が勿体ない。城下町のような白壁や土佐漆喰、瓦屋根の建物を奨励し、NTTの道路側を活用して町家風カフェや地酒ギャラリーなどを整備。高知城とお堀を軸とした高知城下町を再現し、日曜市や博物館とも相乗効果で賑わいが生まれる。よさこいの出発地点としても雰囲気合う。
- 8 四国八十八ヶ所巡りと中心市街地の組み合わせがあまりないので、街に宿坊のようなB&Bを整備したり、お遍路さんが必ず寄って食べる空海ゆかりのスイーツ、グッズなどを開発。中納言や吉本仏具店など。
- 9 よさこいの経済効果は100億と言われているが、全国大会の扱いを「ついでの全国大会」ではなく、しっかりとした「世界のよさこい」をブランディングすれば、本祭と全国大会で大きな山が二つ出来て、100億円以上の価値を生む。振興会が本祭を実施し、商店街と高知市が全国大会をしっかりと運営するなど関係各所の創意工夫と熱意が必要。

C 西敷地



商店街で暮らす人、商売をする人、買い物する人の一番の関心事。避けて通れない課題。

- 10 西敷地の利活用に関してハコモノは勘弁して欲しい。
- 11 西敷地を弥右衛門公園みたいにして欲しい。
- 12 西敷地に牧野植物園のサテライトパークを整備。高知の植物や自然と触れ合うのんびりとした空間を街なかに構えることでグリーン化と高知の自然の豊かさを世界にアピールできる。
- 13 西敷地のプレゼンを公開して、一般人も投票できるようにして欲しい。審査員もその結果を反映して最終判断をしないと同じことの繰り返しになる。
- 14 西敷地に関しては今までの経緯から課題も多いと思うが、中心市街地活性化に繋がる大事な要素なので、しっかりと検討してもらいたい。

D 公共交通



不採算なので減便、路線消滅では未来が無い。行政や商店街も関与した新しい公共交通の方向性を。

- 15 路面電車や路線バスの日曜祝日無料デー継続の声、多数。無料じゃなくても割引や曜日拡充も検討してほしい。
- 16 公共交通の無料デーをやるなら、朝倉以西の便数を増やして欲しい。1時間に1本以下では厳しい。
- 17 観光周遊バス運行をまたやって欲しい。ポンネットバスも雰囲気があって良かった。
- 18 はりまや橋－高知駅－イオンの周遊バス。出来れば無料。
- 19 これだけマンションが増えたので、高齢者や障がい者が気軽に利用できるように各マンション前からバス乗車できるようにする。スーパー、薬局、学校、病院、大丸などで停止するおもてなしバスの運行。
- 20 バス停にデジタルサイネージを設置。『バスこっち』との連携。
- 21 バスや電車でPayPayや楽天EDYが使えるようにしてほしいのに、今や誰もが利用している。
- 22 路線バスと路面電車（出来ればJRも）へのsuicaやPASMOの導入。設備投資への支援。

E 情報発信



良いモノ、面白いヒト、楽しいコトはそこらじゅうにあるが全てにおいて情報発信力に乏しい高知。

- 23 オープンシア、高知城歴史博物館、よさこい情報交流館で開催されている行事などの情報をもっと商店街と共有して、交流出来ればお互いにとってプラスになる。
- 24 商店街を網羅したポータルサイトがあれば。色々あるが全て中途半端。一つにまとめては。放置しているサイトやSNSアカウントは削除しないと悪影響。
- 25 SNS強化。桂浜水族館はツイッター23万人、インスタ2万人のフォロワー。よさこい情報交流館 facebookのみ。フォロワー2700人で直近9カ月間書き込み無し。高知城歴史博物館（ツイッター1500人、インスタ600人）。オープンシア（ツイッター190人、インスタ170人）。日曜市（ツイッター3200人、インスタ3200人）。もっとエッジを利かせた発信を。
- 26 「帯ぶら」とか「高知家」みたいなキャッチコピーを新たに考えて、来街者に発信してもらおう。ハッシュタグ。トレンドワードに。
- 27 様々な事業のおかげで来街者が増えたと感じている。商店街の魅力や店舗情報などをしっかりと伝えていきたいと思う。

F 今あるモノを活かす



新規事業だけでなく、既存事業の継続・拡充・他の事業とのコラボも加速させる。

- 28 基本的には今までの全事業を継続して欲しい。特に東エリア。よさこい情報交流館のリニューアルや情報発信、はりまや橋商店街でのよさこい演舞など。難しいかもしれないが温泉計画も諦めることなく検討して欲しい。
- 29 街なかで開催される小規模イベントを日程やエリア、広報などを上手にまとめて、大きな規模での一つのイベントに集約して誘客に繋げる。土佐の「おきゃく」のようなスタイル。みんなが個性はあるがバラバラ。血鉢料理のようにまとめる。
- 30 イルミネーションフェスタ、高知大道芸フェス、おびさんマルシェなどは継続して応援して欲しい。おびさんロードのイルミネーションも中央公園のように補助して欲しい。
- 31 飲食店のスタンプラリー、GoToイート事業、商店街を周遊するスタンプラリーなど。
- 32 マンションも増え、まちなか居住も増えているので、商店街で買い物やイベントに利用してもらえるような次の取り組みが必要。

G 他の地域との連携



イオン高知2020年秋にリニューアル。18万6000㎡。四国最大。160店舗。P3000台が無料。

- 33 帯屋町とイオンと卸団地の周遊バスをまたやって欲しいの声、多数。
- 34 イオンと協調できる運輸インフラの整備。無料の周遊バスや路面電車の延伸の検討。
- 35 中央公園のイベントのお客さんとイオンのお客さんはターゲットが似ている。敵対せずに両方を回遊する楽しみのある街に。
- 36 今年中に久万川橋が4車線化して、高知駅や産業道路から一層スムーズにアクセス。高知駅から徒歩11分&車4分は高知駅→高知大丸と同じである。イオンや卸団地に危機感を持つのではなく、協働する関係性を築く。
- 37 イオンはバス・タクシーの乗り入れもスムーズで雨にも濡れない。総合病院や消防署も隣りで防災、子育て、医療、バリアフリーに強いという安心感があるという点など学ぶことが多い。
- 38 蔦屋書店を中心に卸団地はセンスの良い店舗や文化的イベントが多く、若い女性を中心にオシャレな街並みになっている。もっとイベントなどの連携もして、お互いに相乗効果をも。

H 駐車場



長年の課題。コンパクトシティ推進とはいえ、まだまだ高知はクルマ社会。創意工夫を。

- 39 駐車場の無料化の声、多数。
- 40 中央公園地下（高知市）は安くなったとはいえ、まだまだ使い勝手が悪い。商店街回遊を目指して定額制を導入すべき。9時～17時は最大600円にして、スタンプ2個で無料に。はりまや地下（国交省）は定額制で12時間最大600円。
- 41 エリアを絞って建築基準などの条件を設けて空き地・空き店舗をすぐにコインパーキングにするのを制限してほしい。
- 42 永国寺周辺などにある無料駐車エリアの拡充。比較的交通量の少ない電車通り南側の与力町や堺町、木曜市の場所など。
- 43 弁形公園前の高知市の駐車場（約50台）を夜間や土日祝に無料開放して欲しい。弁形商店街には殆どコインパーキングも無く路上駐車が多い。菜園場商店街も駐車場が無いので不便。

I 空き店舗対策



商店街活性化の第一目一番地は個店の魅力アップに他なりません。その為にも新規出店の支援、継続する事業への支援の両輪で取り組んでもらいたい。

- 44 空き店舗対策。飲食店ばかりが増えているが、シャッターよりは全然良いと思うので継続出来るようしっかりと取り組んでもらいたい。
- 45 空き店舗対策をもっとやって欲しい。チャレンジ補助、イベント場所として利用など活用法を探る。
- 46 地方創生、ITベンチャー、テレワーク推進企業などを空き店舗を活用して、街に企業誘致。二段階移住の受け皿として商店街をもっと利活用。
- 47 郊外でお店をやっている方（特に若い方）に帯屋町への入店、出店を積極的に呼び掛けて、空き店舗を若返らす運動をしたい。
- 48 意欲のある事業者が土地やビルを購入する際の補助や控除があれば、もっと空き店舗対策が活性化する。
- 49 各商店街からこういった店舗に出店して欲しいという理想型を掲げ、それにマッチした新規出店には空き店舗対策の助成額を増額する。それぞれの商店街のカラー、デザインを大事に。
- 50 「空き店舗対策」も大事だが、「空き店舗にならない対策」も実施してください。踏ん張っている既存の中小零細に手を差し伸べて。
- 51 補助を活用した事業者は必ず組合に加盟するような制度にしてもらいたい。

J その他



商店街や高知市に対する様々な意見があったので記載しておきます。

- 52 綺麗で利便性の高い公共トイレが少なすぎる。トイレの綺麗な街づくりをして欲しい。
- 53 小さな子供を連れて安心して利用できるトイレが少なすぎる。
- 54 居住人口の増加ではりまや橋小学校の生徒数も増加傾向にあり、新たな施設の建設や校区の見直しなど、子どもたちへのフォローをしっかりと行って欲しい。子どもも商店街との繋がりも色々な施策で応援して欲しい。こども食堂や子供が楽しめるコミュニティ施設の設置など。更には高齢者も増えているので、高齢者向けイベントの支援、高齢者と子どもに優しい街づくりを一層取り組んで頂きたいです。
- 55 街のマンションが増えて居住人口が増えているけど、住民と商店街の交流はあまりない。防災訓練などを一緒に行い、少しづつコミュニケーションが図れると嬉しい。そういうのを重ねていけば商店街の利用も増えるだろうが、商店街の努力がもっと必要。
- 56 マンションはもう要らない。供給過多。
- 57 ペットと共生できる街づくりをして欲しい。郊外のSCには出来ない商店街ならではの取り組み。居住者が増えているのなら間違いなくペットも増えている。ペットと一緒に散歩やカフェを楽しめる空間。更には動物病院やペットショップの出店も期待できる。
- 58 SDGsなど環境保全、環境共生の取り組みが中活には少ないと感じる。
- 59 スポーツツーリズム振興や二段階移住の入口と出口を帯屋町で受け入れる。
- 60 商店街内の路上で飲食や物販の許可を出す際に条件として組合員である事を義務付けて欲しい。
- 61 それぞれの中活事業やイベントの「どこが」「何のために」「どうやって」などの情報が街全体に上手く共有されていない。知らない、分からない、が多いので減らしていつてもらいたい。
- 62 一期や二期の事業達成率だけでなく、満足度みたいなものもしっかりと検証して欲しい。
- 63 商店街の通行量や空き店舗の調査に基づく数値は調査方法が実態とは乖離していることが多く、数字だけが独り歩きしている印象。通行量に関してはスマホの位置情報やAIなどを導入した算出方法、空き店舗については一時的・または慢性的な空き店舗なのか、物件の詳細な情報、面積による算出など多面的に見る必要がある。
- 64 高知市市議会で商店街振興議員連盟を設立して、党派を超えて一緒に勉強してもらいたい。